

科目名	国語学Ⅰ（音声言語を含む）			担当教員	濱千代 いづみ	
単位	2単位	講義区分	講義		ナンバリング	ED1JLA101
期待される学修成果	教科教育 自己形成					
アクティブラーニングの要素	ディスカッション、ディベート					
実務経験	教諭（講師を含む）					
実務経験を生かした授業内容	国語教科書における「言葉の特徴や使い方」に関わる部分や事項を取り上げつつ講義する。					
到達目標及びテーマ	国語（日本語）の構造や運用について理解し、適正に使用できるようになる。					
授業の概要	国語（日本語）の構造や運用について概説する。「国語学Ⅰ」では音声・音韻・方言・語彙・意味の領域を扱う。【デジタル技術利用：①】					

授業計画	
第1回	国語科の成立と国語学
第2回	音声（１）母音
第3回	音声（２）子音
第4回	音節と拍
第5回	アクセント（１）型
第6回	アクセント（２）方言差
第7回	方言（１）方言の分布
第8回	方言（２）方言の現状
第9回	語彙
第10回	語種
第11回	位相
第12回	語構成（１）語基と接辞
第13回	語構成（２）語形変化
第14回	意味
第15回	辞書

事前学修	2時間	教科書の該当部分を読み、語句の意味を調べておく。
事後学修	2時間	授業の内容を整理し、気づいたことを記録する。練習問題を解く。
フィードバックの方法	確認テストの後に解説する。	

成績評価方法		割合（％）	評価基準等
定期試験		0%	実施しない。
レポート		20%	まとめて記述する力、取り組む姿勢を評価する。
上記以外の試験・平常点評価		80%	授業時に確認テストを行い、基本概念や事項の理解度を評価する。
補足事項	なし		

教科書

書名	著者	出版社	ISBN	備考
改訂国語教育のための国語学	濱千代いづみ	三恵社	978-4-86693-920-9	
参考資料	教科書に示されている。また、適宜授業時に紹介する。			

科目名	国語学Ⅱ（文章表現を含む）			担当教員	濱千代 いづみ	
単位	2単位	講義区分	講義		ナンバリング	ED1JLA102
期待される学修成果	教科教育 自己形成					
アクティブ・ラーニングの要素	ディスカッション、ディベート					
実務経験	教諭（講師を含む）					
実務経験を生かした授業内容	国語教科書における「言葉の特徴や使い方」に関わる部分や事項を取り上げつつ講義する。					
到達目標及びテーマ	国語（日本語）の構造や運用について理解し、適正に使用できるようになる。					
授業の概要	国語（日本語）の構造や運用について概説する。「国語学Ⅱ」では文字・表記・文法・文章表現の領域を扱う。【デジタル技術利用：①】					

授業計画	
第1回	文字の体系、漢字の書体と字体
第2回	漢字の構成
第3回	漢字の音訓
第4回	漢字の筆順、漢字制限
第5回	仮名
第6回	仮名遣い、送り仮名
第7回	ローマ字
第8回	外来語・符号・数字の書き方
第9回	文章
第10回	文法 品詞
第11回	述語
第12回	敬語
第13回	修辞法
第14回	我が国の言語文化
第15回	世界の中の日本語

事前学修	2時間	教科書の該当部分を読み、語句の意味を調べておく。
事後学修	2時間	授業の内容を整理し、気づいたことを記録する。練習問題を解く。
フィードバックの方法	確認テストの結果を通知する。	

成績評価方法		割合（％）	評価基準等
定期試験		0%	実施しない。
レポート		20%	まとめて記述する力、取り組む姿勢を評価する。
上記以外の試験・平常点評価		80%	授業時に確認テストを行い、基本概念や事項の理解度を評価する。
補足事項	なし		

教科書

書名	著者	出版社	ISBN	備考
改訂国語教育のための国語学	濱千代いづみ	三恵社	978-4-86693-920-9	第16回～
参考資料	教科書に示されている。また、適宜授業時に紹介する。			